

# 巨大カルタ取り合っ

## 岐阜市で大会 障害者と支援者交流

1日四方の大きなカルタを車椅子のタイヤで踏んで取り合う「大カルタ取り大会」(岐阜新聞・ぎふチャン後援)が30日、岐阜市長良福光の岐阜メモリアルセンターであり、岐阜、名古屋市などの障害者や支援者ら約150人が交流を深めた。

大会は岐阜市のNP0法人障害者自立センターつかいぼうや岐阜聖徳学園大のサークルでつくる実行委員会「OH!カルタ会」が開き、26回目。障害者が抱える問題を詠んだオリジナルの句を使用し、今回は「優先駐車場 普通に止める 普通の車」「コンサート 入れるようになった」などの新作を加えた。

競技は自力で車椅子をこぐ部門と介助者付きや電動の車椅子を使う部門があり、計7ゲームを実施。出場者は読み上げられた句の絵札を目指して突進し、一番乗りしてはしゃぐ姿も見られた。団体別の対抗戦もあり、盛り上がった。同法人副理事長の後藤篤謙さん(45)は「障害者と健全者が同じ競技を楽しめる貴重な機会」と話していた。

(小森直人)



車椅子で大カルタ取りを楽しむ参加者  
＝岐阜市長良福光、岐阜メモリアルセンター内ふれ愛ドーム